

発行者

NPO法人どんまい

〒791-0113

松山市白水台 1丁目 6-4

090-4788-9801

《第3号》

2007年5月

どんまい便り

ご挨拶

理事長 谷本圭吾

新しい年度を迎え、早いもので設立総会から1年半が過ぎました。どんまいもH18年度は、嵐のごとく一年が過ぎました。法人活動を始めてみて精神保健福祉のあり方の脆弱さをあらためて感じ、今のままではいかん！！と怒りと同時に力がわいてきました。

この4月から新しい施設（障害者ケアホーム2施設、小規模作業所1施設）がスタートしましたが、これは、理事、社員、関係者の方々の惜しみない協力がなければ成し得なかったことです。ケアホーム新設に伴い、土地建物を2500万で法人名義で取得しました。それぞれの方の知識、ネットワーク、時間などをたくさん頂き、何とか新年度のスタートを迎えることができたことは本当にありがたいことだと思っています。賛助会員の方々も暖かく見守っていただき、励ましのメッセージをたくさん頂きました。

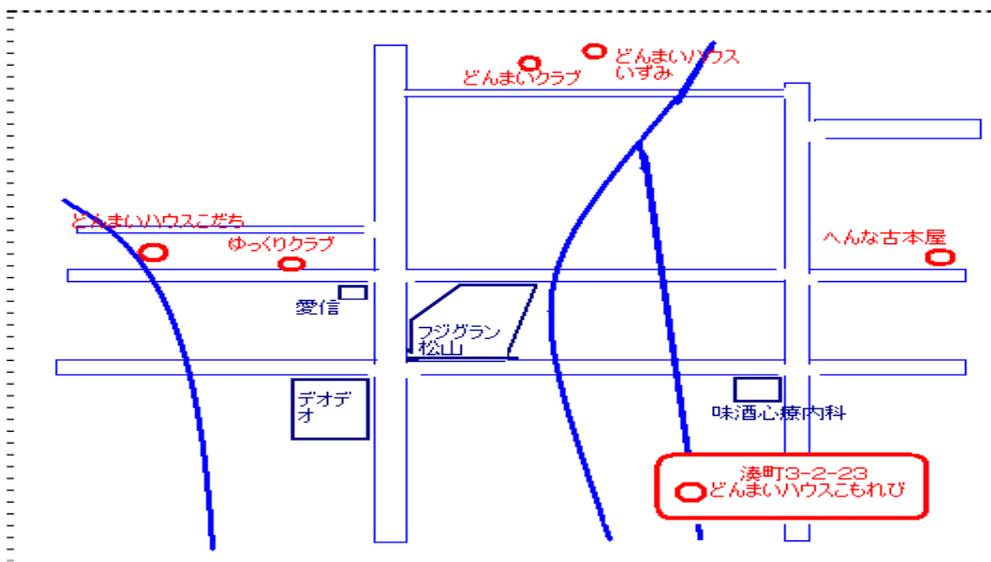
スタッフも、大幅に増え、パートの方も含めると約15名という大所帯になりました。スタッフ一同がんばってくれていますので、今回、施設、スタッフの紹介を載せておりますので、ぜひお読みください。

自立支援法も本格施行されてから半年がたちましたが、事業所としてはまだまだ頭の痛い問題だらけです。松山市の今後5年間の障害者計画においても、約300名の社会的入院をされている方の退院が盛り込まれています。それには受け入れ施設、活動のできる場、居宅の支援サポート体制などの整備が不可欠です。就労支援施設として、“きらりの森”がスタートを控えていますし、今年は障害者計画の最初の年として、大事な局面を迎えることになると思います。

どんまいもそれを支える一員として、松山市の精神保健福祉に寄与できるようがんばりますので、皆様、本年度もよろしくお願いたします。

どんまいの施設紹介

どんまい運営事業所地図（H19.4.1より）



今年度より新しい施設が3つもできましたので紹介します！どんまいハウス・こだち。どんまいハウス・いずみ、作業所ゆっくりクラブです。まだできたてほやほやの施設なので是非ご覧下さい。また従来の施設も紹介しますのでよろしくお願いいたします。

施設紹介

新しい施設が3つもできましたので紹介します！どんまいハウス・こだち。どんまいハウス・いずみ、作業所ゆっくりクラブです。まだできたてほやほやの施設なので是非ご覧下さい。また従来の施設も紹介しますのでよろしくお願いします。

ケアホームどんまいハウス（こだち）

場所 松山市愛光町2丁目-4 定員7名



上・グループホームどんまいハウス・こだちの玄関。
味のある看板でお出迎え。下・ただいま～

ちが出来ることも増えています。退院後は病状も安定してそれぞれ皆さん楽しく暮らしております。

食事提供は夕食を毎日生活支援員と世話人が作りますが、時には7人の入居者の方と一緒に料理を作って食べることもあります。最初の料理は焼きそばでホットプレートとフライパンを使う人もなかなか腕前で美味し夕食でした。まだまだ出来たばかりのホヤホヤのホームですがこれからは失敗をしたり反省をしたりしながら7名の方と暮らしながらこだちで逢えたことに感謝し世話人として安心して日々生活ができて家庭的な雰囲気である場所に取り組んでいこうと思います。近くにいられた時はこだちに是非寄っていただきたいと思います。

生活で戸惑うこともあり不安もいっぱいあると思いますがここで生活しながら自立に向けて取り組んでいるホームこだちです。

《世話人・清水久子》

場所はグランフジより歩いて5分JRの踏み切りの近くです。

ケアホームこだちは長期間病院に入院しておられた方がこの施設を利用することで退院が可能になった方がほとんどです。入居者の方は区分2～3の方です。日中活動は作業所へ行ったりデイサービスへ通っています。こだちはある程度自活力がある方で相談支援を受けて共同生活をしながら落ち着いて地域で自分らしく暮らせるところです。また場所的にもこだちは木造2階建て1階はリビングと居室が3部屋トイレ浴室2階は居室が4部屋で日当たりも良く快適です。1階リビングでは食事をしたり寛ぐ場所で大画面のテレビを見たりして時にはトランプしたり和気藹々と過ごしこれからしたい事や食べたい物などの話をして話題はいっぱいです。

こだちで暮らしながら自分らしい目標もって行くと話す方も折ります。

病院を退院されて入居した日は緊張されて不安だった方も2ヶ月が過ぎ次第にホームの生活に慣れて自分



上・リビングルームで食事中。

人数が多いのでちょっと狭そうです。でもそこがいい所。

下・現在入居者の方が野菜を育て中。食卓に並ぶ日は近いかも！？

ケアホームどんまいハウス（いずみ）

場所 松山市宮西3丁目5-14 定員6名



上・どんまいハウスのいずみの外観。

下・いずみはマンションタイプなのでそれぞれが本当の個室です。この中の1室を共有スペースとして使っています。

ケアホームいずみでは主に地域で一人暮らしなどで生活されていた方で、一人で暮らすのが困難になってきた方が入居されております。施設では夕食提供、必要に応じて生活支援（洗濯、掃除など）といったこともしております。こちらの姿勢としてはできるだけはなるべく入所者の方にしてもらい、必要最小限の援助するというような感じです。大体が今まで一人で暮らしておられた方が多いので、日常生活で何か困っているというよりは、話を聴いたり、何かに対して情報提供したりといった感じです。

いずみではビルの2F、3Fの7部屋を法人が借り受け、ケアホームとしており、201号を皆で集まれる共有の場（みんなの部屋）にしており、そこで部屋にお風呂がついていない方の入浴と、夕食を食べたりタバコを吸ったりとくつろぎの場としております。他の2F、3Fの部屋が入所者の居室となります。マンションタイプのケアホームで、一軒家ではないため、入所者の中にもみんなの部屋によくこられる方、自室で過ごされる方と様々です。3時頃にみんなの部屋を開放し入所者の方に声かけをしていますが、来られる方、食事まで居室で過ごされる方と様々です。大体5時頃になると皆さん集まってこられ、タバコを吸ったり食事の支度を手伝ってくれたりという風な感じです。最初は

中々馴染めず食事ぎりぎりにこられていた方も、少しずつみんなの部屋でくつろいだり、話をしたりという風になってきました。これから少しずつ入所者の方に“みんなの部屋”で過ごす時間を増やしていってもらえたらなと思っております。

また主に入所者の方は日中活動の場を持たれているので、日中活動先との連携もとりながらしていております。入所者の方の様子やケアホームでの過ごし方など、情報交換を取り合いながらしております。

これからいずみでは入所者の方々に慣れてもらい、今まで出来なかったこと分からなかった事など入所者の方自身で出来るようになる手助けをして、共有の場でも皆でくつろいだり、何か行事をしたりと色々なことをしていき、一日でも早く入所者の方が望んでいる生活が出来るように支援できたらと思っています。



ただ今、食事中。笑顔も見られたり、なかなかいい食事風景です。

《世話人・中川圭介》

ケアホームどんまいハウス（こもれび）

場所 松山市湊町3丁目2-23 定員5名

ケアホームどんまいハウス・こもれびといいます。ケアホームは障害認定区分が2以上の方を対象とした共同生活の施設をいいます。対象の方は長期の入院をされていた方が地域で生活するにあたって一人では不安だという場合や、地域で暮らしていたが、単身生活に行き詰まった方です。ケアホームにもいろいろな特徴がありますが、こもれびは施設的なものではなく擬似家族的なものを目指しております。定員は5名です。場所は松山市湊町3丁目2-23 銀天街の端の方にあるビルの3、4Fがケアホームです。以前は松山市地域家族会“明星会”



どんまいハウス・こもれびの外観銀天街のほんの外れにあります。松山劇場から徒歩2分！ビルの3F4Fがケアホームです。

まったり、体調崩されたりと失敗があり、反省を繰り返しながら今があります。

諸先輩方のアドバイスを受けたり、入所者の方に怒られたりしながら、少しずつ解決していている状態です。でも失敗しながらも入所者の皆さんとも一緒に笑えるようになりました。少しずつ世話人として認められてきつつあるのかなと思います。NPO 法人どんまいに就職し、なにかの縁でどんまいハウス・こもれびの

世話人になり、縁という言葉で出会い、一緒に笑いあえる。もしまだ認められてないとしても、来年には認めて貰うような意気込みでやっています。正直な気持ち死ぬまでお付き合いしたいとさえ思っています。不思議な関係です。一般企業に就職されている方にはなかなか理解しがたいとは思いますが、だからこそ、こもれびを知ってほしいという想いは人一倍強いかも知れません。どうぞご連絡ください。知ってください。お待ちしております。

《世話人・左古利雅》

によって運営されていましたが諸事情により、当法人が引き継いで運営しております。元が歴史のあるケアホームだけに歴史を汚さないように、またアットホームな雰囲気を目指し、がんばっております。

それぞれが様々な悩みをかかえながらも自分らしく生活してもらいたいと思って今まで、やってきました。現在は皆さん病状も落ち着いて、マイペースで楽しくやっておりますが、過去は様々な問題がありました。服薬管理を怠って病状が悪くなってしま



リビングルーム、この部屋でお食事します。下がお食事中。はやタバコ吸ってる人もいたり。



上・グランフジ近くのモルゲンビル2Fにゆっくりクラブがあります。

下・ゆっくりクラブの玄関。ここからメンバーさんの一日が始まっていきます。

小規模作業所 “ゆっくりクラブ”

場所 松山市宮西1丁目1-44 利用定員 10名

ゆっくりクラブは、正式には今年の4月から発足したばかりの小規模作業所で、松山市宮西のモルゲンというレストランの2Fにあります。運営は地域活動支援センター「どんまいクラブ」にならい同様に運営していて、ほぼ順調に推移しています、といたい所ですが、まだまだ手探り状態で、最近ようやく形になりつつあります。現在作業所のメンバーは6名で、毎日元気に通所の上作業を行っています。最初は作業できなかった人も今はちょくちょく手伝ってくれるようになったりとお互いの進歩がみられつつあります。

また週1回ミーティングを開きその週の行事、作業のあり方、運営等を話し合い、和気あいあいとした雰囲気の中で作業を進めようとスタッフ、メンバーさん共々で話し合い少しずつ悪いところを改善中です。作業として内職と昼食提供を行っています。昼食提供はまず他施設のスタッフの方



ただ今、作業中。みんな真剣です。

などにお客さんとして来て頂き“ゆっくりランチ”として昼食を提供することから始めています。今は2週に一度ですが、開催の回数もご案内するお客さんの幅も徐々に増やす予定でいます。皆さんのところにもいずれ案内のチラシが届くかもしれません、ぜひご予約の上おいでください。超豪華！？“ゆっくりランチ”でお迎えします。

お待ちしております。（もちろん自分たちもお客さんにもなりますが・・・）行事としては、誕生会、バザーへの参加等を増やして活きたいと思っています。まず手始めとして5月27日ゆっくりクラブ単体の店として“アイスクリーム屋さん”に挑戦します。みんな“稼ぐぞ〜〜！”と張り切っています。

この所、メンバー全員が発足当時に比べ、見違えるように元気になり笑顔もみられるようになり作業もはかどっていて、私も大変喜ばしいと冥利に尽きる思いです。

今後も、メンバーの皆さんと共に成長し、より質のいい作業所にし、発展していけるように最善の努力をしていきます。

《指導員・小西敦》

地域活動支援センターⅡ型どんまいクラブ

場所 松山市宮西3丁目4-2 利用定員19名

（店舗部は松山市松前町にあります。）



障害者の自立と生きがいを高めるため精神障害者が共に時間を共有する中で、お互いを支えあい、自己の向上、成長促し又作業所を通じて社会参加や友達作りも出来社会復帰が出来る意欲がおこるなど、良い経験ができればと事業を実施しています。現在は、27の方が利用されています。

封筒や包装紙をリサイクルしたエコハガキが好評ですが、昨年度はその素材を利用して、オリジナルの卓上カレンダーを作成しました。これが予想をはるかに超えて大好評で、12月1か月で500部の売り上げとなり、生産が追いつかない状態でメンバー一同うれしい悲鳴でした。

今年は、年間計画生産で、1000部の売り上げに挑戦しようとメンバー一同がんばっています。去年は手に入らなかった方もおられましたので、今年は秋頃から予約を受け付けようと思います。会社のロゴが入った販促用カレンダーも受け付けますのでよろしくお願いします。もうすでにとある会社から300部の予約を頂いております。予約はお早めどうぞ。

また賛助会員の方、その他のたくさんの方から材料の封筒や包装紙をご寄付いただいています。本当にありがとうございます。また、これからも皆様のご協力の程、よろしくお願いいたします。《指導員・谷本清子》



上・メンバーさんそれぞれがいろんな思いを込めた手書き看板でお出迎え

下・どんまいクラブの看板商品、ハガキ作り班と内職班に分かれて作業中です。



伝統あるへんな古本屋店内

@スタッフ紹介

古今奮闘しながらも頑張っているスタッフの自己紹介です。

今回は枕詞方式！！言うならば笑天みたいなもので下記の文章を上手く使って文章を作りました！

1・私がこの仕事を選んだ理由は… 2・実際やってみると… 3・その為、これからは…



谷本 清子

“どんまいクラブ指導員”
3年目になりました。

私がこの仕事を選んだ理由は

以前勤めていた方が辞める事になり家で居た私に声がかかり勤めるきっかけになりました。地域活動支援センターどんまいクラブとして、3年目を迎えますが以前勤めていた知的障害者施設での仕事は、看護師で入所者及び職員グループホーム、ショートステイの人達施設全体の健康管理、衛生（水質検査、菌検査、）感染症対策等、日々通院介助を多い時は1日3の通院を自ら運転していました。月4回の宿直等その他施設の行事等他の職員さん達と同じ様にこなしていました。今までの仕事がいかにせるのでは、と思い勤めるようになりました。

実際にやってみると

日々毎日がくたくたになり、こんなはずでなかったのに思いながらカレンダーだけが1枚1枚と剥がされ、もううんざりと言いたいのが本音かも知れません。でもこんな事を口にすれば一生懸命に仕事をしている利用者さんたちに悪いので、顔は平然としているも、腹がたったり、自分が被害妄想なのかと思ったりする日々ですが……。人間の本質的なものは、そんなに簡単に変わるものではないと思っています。一緒に作業をしているとよく見えてきます。損得を考えずいわれた事を一生懸命にする人。本当はわかってできるのにわからない振りをして楽しむことを選ぶ人。要領よくやる人。自分自身の姿を映し出してくれる色々な色を持った人達と関わりを持つことで自分の短所や長所が見えてきたり、今までの生き方に疑問を投げかけてくれた様にも思えます。そんなに事細かくやらなくても大丈夫。また同じ様になってしまうよ。私は皆に神様は、時間だけは平等に与えてくれているし、私たちの作業は一度不要にされたものを再生して新しい物に生まれ変わる事をするのだから同じ様に失った時間を無駄と思わないで時間はかかるけどハガキを作りましょーと言って自主製品に取り組み、今では手を貸すことなく後から入った人達に教えてあげられるまでになっています。

その為、これからは、

自分たちの仕事は、自分達で責任を持ってできるようになり一人でも多く自立した生活ができる様支援していきたいと思えます。今年もカレンダー作りに、そして新製品作りにまい進していきたいと思えます。

この、4月16日より作業所どんまいクラブで働くことになりました鈴木良尚と申します。まだ、入って間もなく右も左もわからない状態ではありますがこれから粉骨砕身努力し利用者、スタッフの方々など周り全ての人間から必要不可欠な存在となれますよう日々、全力で頑張り成長していきたいと思えます。

私がこの仕事選んだ理由は

一番に人と係わることが好きだということ、人の役に立ちたいということが前提にあり少しでもその方達の助けや支えになればと思ったことです。

実際にやってみると

感じたことは知識より経験であり、コミュニケーションの重要性、固定観念にとらわれないこと、柔軟な発想が大切だったりなど日々、発見や学習の毎日です。今はまだ利用者、スタッフの方達には迷惑をかけばなしたりコミュニケーション不足もあったりし信頼関係がまだ薄かったりするのでこれからは、仕事に関しては一日でも早く覚えたいと思えますが、コミュニケーションに関しては時間をかけてじっくりゆっくり利用者一人一人に合わせた接し方をし、同じ目線で物事を見たり感じたりしたいと思えます。利用者の方達は皆私よりも年上なのでどちらかと言うと教えられたり学ばせて頂くことが多々あるでしょう。

その為、これからは

とにかく微力ながらも誠心誠意努力し勉強し頑張りますので今後とも皆様のご指導のほどよろしくお願ひします。



鈴木良尚

どんまいクラブ指導員
まだ仕事を始めて1ヶ月半です。
分からない事ばかりですが、頑張
ってます！

私がこの仕事を選んだ理由は

ハローワークの紹介で、こんな高齢でも応募できるという単純な動機で理事長の面接を受け、その時「こんな“志”の高い」人がいるんだと感銘を受けたのが理由です。定年までドロドロした競争社会に身を置いていたので、胸を打たれる思いでした。その後紆余曲折はありましたが、

実際にやってみると

先輩達（といっても全員私より若いのですが…）を見て感心することばかりです。こんな仕事なので、恐らく給料も安いと思いますが、プライベートの時間もなく、長時間勤務していて、崇高な精神の持ち主ばかりと感心しきりです。自身の過去に恥じ入る思いです。

その為、これからは

先輩達の精神に一步でも近づけるよう勉強（実際に精神病関係の書籍を2、3冊買ってはきたが…）をし、真面目に勤務をし、与えられた職責「ゆっくりクラブの運営」を全うしようと思っています。「ゆっくりクラブ」のメンバーの皆さん、理事長、法人の理事始め先輩諸兄の協力と助言を祈るや切であります。



小西敦

ゆっくりクラブ指導員

今回、初めて福祉の世界に入りました。

私がこの仕事を選んだ理由は

昨年のごとです。以前の職場で身体的ストレスからうつ病になり、辛い1年を過ごしました。心療内科に受診している時出会ったのが精神福祉士のTさんでした。昨年10月頃に少しずつ回復に向かったある日、ケアホームが出来る事を聞き、何か私にできることは無いかと思い話をしたのがきっかけでした。

しかし、実際やってみると

本当に手探りの状態のことばかりです。4月にスタートして、思ったより大変な毎日が続き専門的なことは、全く解らず先輩方にひとつひとつ教わることでこれからの自分が仕事をしていく上での道しるべにしていければと思います。4月末でホームも満室になっています。7名の方が入居されて、少しずつではありますがホームの生活にも慣れておられます。出逢えた7名の方が、家庭的なホームで暮らして行ける様な環境をつくりが出来ればと思うばかりです。

その為これからは、ひとりひとりの方が、自分らしい生活を目指して行けるように世話人として、サポート出来るように努力して行こうと思っています。それには、何時でもどんな時でも、7名の方が話が出来るような状況とコミュニケーションを作る事が、世話人としての責任である事を忘れに、努力しようと思っています。どんな仕事をしていても誠心誠意心から接することで、伝わることではないかと思って信じて仕事に取り組んで行けたらと思っています。「出逢いを大切に」

初めまして。この度4月からケアホームどんまいハウスいずみの世話人をさせていただいております中川圭介です。

私がこの仕事を選んだ理由は

私は3月まで愛媛医療福祉専門学校の精神保健福祉士コースで学生をしておりました。正直に言いますと授業はそれほど真面目には受けてはならず、専門的なことはほとんどわからないままに実習に行きました。その実習先が味酒心療内科、どんまいクラブ、GHこもれびでした。その実習の中でメンバーの方から、過去にどんな思いをしたのか、辛かったことなど話していただくうちに、どうしてそんな思いをしなくてはならなかったのか、長期に渡り入院する必要があったのだろうか、とても疑問に感じました。それから何度かボランティアをどんまいのほうでさせていただきケアホームを任されること



清水久子

どんまいハウスこだち世話人

皆様、何卒よろしく申し上げます。



中川圭介

どんまいハウスいずみ世話人

ピカピカの新卒です。

になりました。

実際にやってみると

どんまいのスタッフとしてメンバーの方と関わってはいたものの、中々信頼もされずケアホームでもトラブルが続きました。その中で学んだことは自分はボランティアや実習のときのような気持ちがあり、メンバーの方に頼まれたことなどすぐに取り掛かれずいたということです。谷本さんから言われたのはそういった小さなことでもすぐに対応していかないと信頼なんかうまれないと言われそれからは、出来る限りすぐ行動をするように心がけております。

その為これからは

小さなことでもすぐに対応していき、少しでも早くメンバーの方から信頼されお互い良い関係を築き、ケアホームいずみをメンバーの方に安心できるような場所にしたいと思っております



左古利雅

どんまいハウスこもれび世話人
今年何とか、精神保健福祉士の
資格とれました。

私がこの仕事を選んだ理由は

皆みたいに障害を持つ人の支えになりたいとか、親族が障害者で云々とかじゃありません。正直な所、就職活動の時に精神の分野に進むのは嫌でした。学生のときに実習で精神分野の施設にいきましたが、実際行って二度と行きたくないと思ったほどです。就職の時本当に一晩寝ずに悩んで、面接に行くのを決心したほどです。私はこの仕事について、何かを探そうとしているかもしれません。精神分野に行きたいと思って選んだ学校。だけど実際の現場をみってみると本当にひどいと感じた。だから、選んだのだと思います。うまく言えませんが。

実際仕事してみると、就職前自分は表面上しかみていないことに気がきました。誰よりも障害に偏見があることに気がきました。そんな考えや頭だからこそ、行きたくないと思ったのかも知れません。今、一生懸命精神障害者の方と接してようやく気付くことが

できました。

その為、これからは

もっといろんなことをメンバーさん、スタッフと経験して自己をみつめていきたいと思っています。あの時、この仕事を選んだ答えを出せるように。

私がこの仕事を選んだ理由は

話が少し長くなりますが、精神科に携わって三十年余年。楽しく仕事が出来なくなったのはいつ頃でしたでしょうか。入社拒否症になり生きてるのが辛く人生のどん底を経験し4年前に退職しました。そんな私が縁あって昨年10月より、サービス管理責任者として、どんまいハウス「いずみ」「こもれび」の2箇所のケアホームでお世話になっていきます。

実際仕事してみると

今になってやっと精神科の事が少し分かりつつある様な気がしています。メンバーさんの繊細な優しさに触れ、私自身が元気をもらい。ケアホームに行くのがとても楽しいのです。今、自分自身正直に生きてることを痛感しています。

その為、これからは

メンバーさんと喜びや悲しみを共有できる関係になればと思っています。



矢野育恵

こもれび・いずみ
サービス管理責任者

各施設を助けていただいている生活支援員の方にも、それぞれの想いを聞きましたので是非ご覧下さい。



ケアホーム生活支援員 左から渡部さん 古川さん 玉井さん

本当にいつもいつも、助けてもらってます。

どんまいハウス・こだちに行きだして心が溶け合い、楽しく食事がいただける。自分のわが子見たいな気持ちになる。(こだち生活支援員渡部さん)

今まで、色々なことがありましたが、中川さん谷本さん始め皆様方に助けていただき今日までやってきました。本当にこの仕事が出

来ることを嬉しく思います。これからも色々教えてくださいお願いします。(いずみ生活支援員古川さん)

人の役に立つ仕事をしたいと思っていました。今までの仕事は時間に追われて嫌々していましたが、ここは時間の使い方も自分次第で心にゆとりができ、楽しく一生懸命できる。大げさに聴こえるかもしれないが本当に生きがいになった。ここに来るのが楽しくて仕方がないです。(こもれび生活支援員玉井さん)

それぞれの施設のメンバーさんの声

各施設のメンバーさんがどのような想いで入所または入居しているのか不満や希望なんでもOKということでお聞きしました。各施設3名分しかのせてないですが、皆様もぜひ耳を傾けてあげてください。

どんまいクラブ

作業所に通うようになって3年目を迎えます。当初の目的だった生活のリズムを整えるは、十分クリア出来休みの日も規則正しく生活が出来ています。又作業を通じて仕事をしていた時の感をとりもどすと共に積極的に行動できるようになりました。(Tさん)

通い始めた頃は、ストレスになり何のために来ているか解からなかったが、最近では、規則正しい生活を身につける所だと解かってきた。又色々な症状の人達が居る事がわかりました。付き合い方も難しいです。そろそろアルバイトでも始めようかなと思います。(Yさん)

家に数年閉じこもっていたが今では、毎日通える様になった。マイペースで出来るようになりたい(Iさん)

ゆっくりクラブ

生活のバランスが取れるようになった。(Mさん)

ここに来ることで時間の大切さがわかる。(Uさん)

作業や行事やいろいろなことができて楽しい。(Nさん)

どんまいハウス・こだち

落ち着く場所ができて退院できて良かった。ここに来て本当に良かった。(Sさん)

退院できたことが一番嬉しかった事。規則正しい生活ができる事。(Nさん)

自由があり、部屋で自分の時間が取れること。後、食事が美味しい(Kさん)

どんまいハウス・いずみ

今まで一人暮らしだったので、夕食が食べれて、皆と話が出来るから楽しい。(Tさん)

話が出来てご飯が食べれていい。(Tさん)

食事があるのが良い。静かだからいい。(Iさん)

どんまいハウス・こもれび

CHに入って、もうすぐ1年経つが早かったと言えば早かった。皆考えることは一緒だと思う。皆、5人でわきあいあいとできて、いい生活。(Mさん)

昼まで寝て、夜遅くまで起きてたり昼夜逆転してたが、CHにはいって規則正しい生活ができるようになった。でも掃除当番が面倒くさい。(Nさん)

皆がルールをきちんと守ってフォローしあえる事。それが僕にとっては住みやすくていい!(Nさん)

社員名簿

H19.4.1 現在

| | 氏名 | 役職 | 勤務先 | |
|----|-------|-----|------------|------------------------------------|
| 1 | 谷本圭吾 | 理事長 | (医)味酒心療内科 | 精神保健福祉士 |
| 2 | 栗栖公明 | 理事 | (医)味酒心療内科 | 事務長 |
| 3 | 中井一成 | 理事 | 中井ホーム | 不動産、建築会社経営者 |
| 4 | 大坪廣子 | 監事 | 大坪司法書士事務所 | 司法書士事務所 |
| 5 | 山内義雄 | 社員 | 山起会ライフサプライ | 介護保険事業所経営者 (介護保険・在宅、デイサービス) |
| 6 | 上西光宣 | 社員 | (有)ベターライフ | 介護保険事業所経営者 (介護保険・グループホーム) |
| 7 | 多賀達夫 | 社員 | 多賀住宅設備 | 家電、住宅設備会社経営者 (電器店・バリアフリーリフォーム等) |
| 8 | 武崎美弥子 | 社員 | (医)味酒心療内科 | 精神保健福祉士 |
| 9 | 丸田一郎 | 社員 | 真光園 | 精神保健福祉士 NPO法人ほっとねっと理事 |
| 10 | 笠陽一郎 | 社員 | (医)味酒心療内科 | 理事長、精神科医 |
| 11 | 村上佳子 | 社員 | 愛媛医療福祉専門学校 | 教員 (精神保健福祉士養成コース等) |
| 12 | 徳永佳勝 | 社員 | 社会福祉法人南風会 | 精神保健福祉士 ハートピアみなみ施設長 |

H19年度 第5回総会

日時：5月23日(水) 19:00～

場所：松山総合福祉センター

1F ボランティア研修室

議事

H18年度事業報告・決算報告

H19年度事業計画(案)・予算(案)審議

役員改選審議

H18年度法人活動報告

(3/1) GHどんまいハウスこもれび運営開始

- 4/1 作業所どんまいクラブ運営開始
- 4/5 障害者福祉サービス事業者台帳システム登録（県）
- 4/12 第1回法人事業運営会議
- 4/26 第2回法人事業運営会議
- 5/7 第3回理事会開催
- 5/10 第2回通常総会開催
- 6/23、26、29、30 愛媛医療専門学校実習生受け入れ
- 6/27 愛媛県 自立支援法説明会
- 7/7 松山東社会保険事務所基礎算定届
- 8/1 愛媛県 自立支援法説明会
- 8/2 共同生活援助、共同生活介護事業 指定障害者支援施設申請（愛媛県）
- 8/5 どんまい夕涼み会（於 奥道後山頂ビアレストラン）参加者＝27名
- 8/17 作業所－松山市監査
- 8/22 共同生活援助、共同生活介護事業 指定障害者支援施設申請変更届け
- 9/13 松山市 地域活動支援センターについて説明会
- 9/14 臨時社員総会（ケアホーム増設について承認）
- 10/1 自立支援法施行のため施設名称変更
地域活動支援センターどんまいクラブ、
障害者ケアホームどんまいハウス
- 10/16 ケアホームどんまいハウス（こもれび）新家主と契約
（競売成立のため）
- 11/24 理事会開催（愛光町ケアホーム用物件買収について承認）
- 11/29 臨時社員総会（愛光町ケアホーム用物件買収について承認）
- 12/7 愛光町物件売買契約
- 12/15 日本財団と改修工事費助成契約
- 12/18 理事会開催（入札方法、入札業者選択、入札日決定）
- 12/19 入札指名業者に通知
- 12/22 現地説明会（入札指名業者）
- 12/22 第1回ケアホーム連絡協議会開催
（新ケアホーム説明会）（11 関係機関）
- 1/10 伊予銀行融資契約、売買契約
- 1/11 改修工事契約
- 1/12 改修工事着工
- 2/15 第2回ケアホーム連絡協議会開催（入所者決定）
- 2/28 改修工事完了
- 3/11 施設見学会、完成記念“はるのつどい”開催
（見学約60名、つどい35名参加）
- 3/20 ケアホームどんまいハウス（こだち、いずみ）開所、入所開始

平成18年度事業報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

NPO 法人どんまい

1 事業実施の方針

精神障害者の社会参加促進を目指し、生活を取り戻すための活動の場、相談・サポートをできる場等を充実させていくとともに、地域住民等に対して精神障害者への理解を啓発することにより、精神障害者の福祉を向上、発展させることを目的とし、法人をスタートしましたが、H18年3月より、松山市精神障害者地域家族会・明星会が運営してきたグループホームの運営を引き継ぎ、(10月1日よりケアホームに変更申請)、さらに2施設の増設を準備しました。特にこだちにつきましては、法人が土地建物を取得し、法人財産とすることとしました。

障害者ケアホーム“どんまいハウス”こだち、いずみ、こもれびとして3施設計18名の障害者の方々が共同生活をする施設となりました。既存のこもれびに加え、地域で単身生活を送っていたが生活介護が必要になった人を対象にしたいずみ、精神病院での社会的入院を余儀なくされている人の退院促進を目的としたこだちという目的を定めた設定をして進めました。3月20日より入所スタートし、4月中に全員の入所が完了する予定です

また4月1日から、松山精神障害者互助会(ごかい)がH10年から運営してきた“共同作業所へんな古本屋”の運営を引き継ぎ、小規模作業所“どんまいクラブ”として、運営をスタートしました。10月1日より自立支援法の制定に伴い、地域活動支援センターⅡ型”どんまいクラブ”と事業名称が変わりました。

もう一事業として、ケアホームに入所した方の日中活動の場の確保が必要であり、計画通り小規模作業所の新設を進めました。小規模作業所“ゆっくりクラブ”は定員10名で、主にケアホーム入所者の日中活動の場となれるよう、また作業中心ではない緩やかな場の提供を目的としています。当施設も4月1日事業開始に向けて準備を進めました。

社会的入院の方の退院促進を呼びかけるため、市内の病院、各関係機関に呼びかけ、連絡協議会を立ち上げました。その結果、20数名の入所希望者があり、その中からケアホーム入所者を選定させていただきました。来年度は“地域生活支援連絡協議会”として各医療機関、関係機関に参加していただき、2ヶ月に1度の開催を予定したいと考えております。

また行政、各機関からの理解、協力を得る必要があることから、民生委員、生活福祉課担当者、権利擁護事業担当者等への協力依頼、調整、意見交換などを進めました。地域の自治会主催の会などにも法人としてスタッフが出席し、交流を深めました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の 人数 | 人数 | 支出額 (千円) |
|-------------------------|------------------------------------|----------------|------|------------|--------------------------|-------------|
| 障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業 | 精神障害者共同生活介護事業 (ケアホーム) | 4月1日 ～3月31日 | 松山市内 | 8名 | 松山市内の 精神障害者 5名→18名 | 6,757 |
| 障害者の地域生活支援に関する事業 | 精神障害者小規模作業所の運営 どんまいクラブ | 4月～9月 | 松山市内 | 4名 | 松山市内の 精神障害者 約30名 | 3,653 |
| 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業 | 地域活動支援センターⅡ型の運営 どんまいクラブ | 10月～3月 | 松山市内 | 4名 | 松山市内の 精神障害者 約30名 | 5,389 |
| 障害者の地域生活支援に関する事業 | 精神障害者 小規模作業所 ゆっくりクラブ 設立準備 | 1月～ | 松山市内 | | 松山市内の 精神障害者 10名 | 240 |

平成19年度事業計画書

平成19年 4月 1日から平成20年 3月31日まで

1 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活介護事業、地域活動支援センター、障害者小規模作業所の経営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活介護事業（ケアホーム）においては、現在、受け皿がなく、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院をすすめていくため退院後の生活のサポートができる施設、現在一人暮らしをしているが、共同生活による介護の必要性が出てきた人たちのための施設など特徴を持たせた3施設、“ケアホームどんまいハウス”（こだち、いずみ、こもれび）の事業を運営します。サポートの理念としてより主体的な生活を目指すため、見守り、待ちの大切さを忘れないようにします。レクリエーション、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。また社会的使命として、長期の社会的入院の人の退院促進に取り組みます。
- ② 生活援助を必要とする方のために、日中活動の場の整備も不可欠となります。精神障害者地域活動支援センター“どんまいクラブ”では、作業やレクリエーションでの役割分担などを通し、やすらぎや達成感を感じながら、次の目標を迎えるよう、援助、指導を行います。就労援助、社会適応訓練などについても計画を進め、通所者のレベルにあわせたニーズに答えられるよう、事業を展開していく予定です。
- ③ 病院を退院した方のための日中活動の場として新設した小規模作業所“ゆっくりクラブ”の運営を通し、地域活動支援センターとは違った角度から、地域で生活を総合的に支援します。作業を通し社会とのつながりを作っていきます。仲間作り、生甲斐造りを支援します。

事業を進めていくためには、その事業に携わる人の育成も不可欠です。各事業所との交流会、勉強会なども企画し、研鑽に努めます。精神障害者に対する地域生活支援を進める中で市民の理解も不可欠です。各バザー、イベント、交流会などに利用者ともども積極的に参加して、市民との交流を深め、その理解を推進します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支出見込額(千円) |
|---------------------------|-------------------------------------|------|------|--------|----------------|-----------|
| 障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業 | 精神障害者共同生活介護事業 (ケアホーム) どんまいハウス | 通年 | 松山市内 | 10名 | 松山市内の精神障害者18名 | 23,893 |
| 障害者自立支援法に基づく地域活動支援センターの経営 | 地域活動支援センター どんまいクラブ | 通年 | 松山市内 | 5名 | 松山市内の精神障害者約30名 | 11,252 |
| 障害者の地域生活支援に関する事業 | 精神障害者小規模作業所 ゆっくりクラブ | 通年 | 松山市内 | 1名 | 松山市内の精神障害者10名 | 3,920 |
| その他、当法人の目的を達成するために必要な事業 | 他事業所との交流会、勉強会など | 通年 | 松山市内 | | | 0 |

編集後記

こんにちは、今回の編集長左古です。忙しい時間の中、なんとか皆様にお届けすることができました。第3号のどんまい便りは、誰もが見やすくすっきりしたコンセプトで、写真を多く使い文字は少なめで行う予定だったのですが、スタッフが予想以上に文章を多く作成してくれた為、ボリュームが多く、コンセプトからは大きく外れてしまいました。だけど、スタッフそれぞれがどのような想いで働いているかという内面的な物が解る記事になったので、表面だけのそんじょそこの週刊誌には負けない、良い内容に仕上がっています。是非、ご覧頂きどんまいの内面を知ってください。余談ですが、今号のどんまい便り、ボリュームが多く、毎日コツコツと作成していたのですが、完成間近の締め切り1日まえに、なんとこのデータがとんでしまい、ほぼ完全徹夜で仕上げたまさに血と涙が詰まった力作でございます。この紙をなめると少し塩辛いのはその為です（笑）最後になりましたが、お届けすることが出来るのも、皆様の協力があるからこそです。色んな人に支えられNPO法人どんまいは成り立っています。この場をかりてお礼を申し上げます。皆様本当にありがとうございました！ SAKO

どんまいのHPを開設しています。更新頻度も少なく皆様に近況をお伝えしにくい現状ではありますが、近々リニューアル予定！色んな箇所を修正致しまして、皆様にお届けいたします。是非お気に入りに入れて下さい。どうぞよろしく申し上げます！

<http://npo-donmai.web.infoseek.co.jp>

NPO法人どんまいHPへようこそ！！

どんまいの活動報告、どんまいクラブの商品紹介や、[SAKOくんのきょうの晩めし](#)（ケアホームブログ）
[未だ不完全燃焼](#)（理事長K5君のブログ）など、盛りだくさん！！ちょっとのぞいていってくださいな。



どんまいの社員、関係者全員集合！！（新施設見学会・披露パーティーはるのつどいにて）